

ニチレイ社有地の第2回植物相調査報告

2014年6月25日(水)、黒沢研、塘研、木村研、難波研、廣瀬先生の連携研究「裏磐梯湖沼の生物相および周辺植生の総合調査」の一環として、黒沢研究室の4名(客員研究員の山下先生、修士1年の猪瀬さん、4年の齋藤さん、遠藤)と木村研究室の石川君で、(株)ニチレイ社有地の第2回植物相調査を実施しました。

まず、前回の調査では採集しきれなかった植物のある桧原湖探勝路沿いから調査を始め、その後、社有地の奥深くまで入って調査を行いました。前回調査では高枝ばさみを持っていくのを忘れていたため、今回は特に多くの木本植物を採集しました。このほか、貴重なものも含めて、多様な植物を採集することが出来ました。

梅雨の合間ということもあって、雷が鳴りだしたために調査は3時半ごろには打ち切りでしたが、涼しい気候の裏磐梯地域でも季節が進んでいることを植物たちからも感じ取ることが出来ました。次回は7/2(水)に調査を予定しています。



2つ目の池の様子